

大規模文書管理の効率化に関する研究

研究分野：ソフトウェア工学、システムズエンジニアリング

キーワード：アジャイル開発、DevOps、形式手法、地域防災計画

貢献できるSDGsの区分：



情報システム学部 情報セキュリティ学科 准教授 木下修司

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/kino-shuj/>

研究概要

- 元々システム開発企業のエンジニアとして文書管理システム(ワークフロー、履歴管理など)に取り組んでいたことから、情報科学・ソフトウェア工学の成果を活用した大規模文書管理の効率化に関心があります。
- 特に「地域防災計画」という自治体の大規模防災文書の編集・閲覧の効率化を目指して、これまで共同研究を前任校で実施していました。東京都総合防災部さんとのプロジェクトが2025年3月末で終了し、現在はその成果を生かして他の自治体や企業でも利用可能なシステムを、大学発ベンチャーと連携しながら開発しています。

産学連携の可能性(アピールポイント)

- 本開発にご支援いただける県内のIT企業さまは、お気軽にお問い合わせください。AWS運用やリモートアジャイル開発、ChatGPTを用いたプロンプトエンジニアリング等の知見は共有できます！

東京都
パソコン・スマホで
地域防災計画の必要な情報が
素早く探せる!

東京都
地域防災計画
データベース

2024年
10月
震災編
リリース

東京都地域防災計画は、災害対策基本法の規定に基づき、東京都防災会議が決定する計画です。
震災編、風水害編、火山編、大規模事故編、原子力災害編の計5編で成り立っています。

東京都地域防災計画データベース >>>>>> <https://www.tokyobousai-plan.metro.tokyo.lg.jp/>

外部との連携実績等

- 2022-2024年度 東京都総務局総合防災部との受託事業「東京都地域防災計画のIoD(Internet of Documents)化による防災力向上」(東京都事業提案制度)
- その他、システム開発企業やユーザ企業との連携実績あり(アジャイル開発支援、社内情報システム運用への助言など)